

「情報公開文書」

研究課題名：

腹部超音波検診（健診）で発見された膵嚢胞性病変の事後管理

研究責任者：

公益財団法人宮城県対がん協会 検査課
小野 博美

1. 研究の対象

1996年4月から2014年12月までに宮城県対がん協会において、がん生活習慣病健診または職域検診で腹部超音波検査を受診し、膵嚢胞性病変を指摘された方々。

2. 研究目的・方法

目的

腹部超音波検診（健診）では膵がんの高危険群の拾い上げとして膵嚢胞性病変や膵管拡張があげられる。今回の研究の目的は、腹部超音波検診（健診）で膵嚢胞性病変を指摘された症例からその後膵がんが発見されていないかを調査して、今後の膵嚢胞性病変に対する事後管理のあり方を再検討することにある。

方法

1996年4月から2014年12月までの間に宮城県対がん協会において、がん・生活習慣病健診または職域検診の腹部超音波検査で膵嚢胞性病変を指摘された方々の予後調査を行う。予後については宮城県対がん協会の検診受診履歴から調査可能ではあるが、多くの症例は追跡不能であり宮城県がん登録との照合を行う。また、紹介先医療機関への問い合わせを行う場合がある。

研究期間

平成30年2月1日から平成32年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、検診時年齢、宮城県がん登録情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人宮城県対がん協会 検査課

小野 博美

〒981-0011

仙台市青葉区上杉5丁目7-30

電話 022-263-1525 (内線590)

E-mail kensa@miyagi-taigan.or.jp